

社会福祉系学会連合ニュース（2015年7月号）

1. ご挨拶

被災地の支援者を支援する

日本社会福祉系学会連合会長

副田 あけみ

今年の夏は冷夏に、という長期天気予報を聞いたのは聞き違えだったかと思わせるような猛暑が各地で続いています。先日見たNHKの朝の番組では、福島から同地の観光地や福島産のおいしい食材を紹介する放送を行っていましたが、屋外の強い直射日光の下での画面を見ていましたら、出演者の熱中症対策は大丈夫かしら、と少し心配になるくらいでした。

その番組に、福島出身の有名な料理人がゲストとして出演していました。彼は、震災後何度か里帰りしているが、福島の人々が元気になってきたのを感じる、といったようなことを話していました。被災された方々や、風況被害等に遭われた方々が、徐々に元気を取り戻されているというのは嬉しいことです。

これまで、被災地で被災者支援や地域復興に尽力されてきた、役所のみなさんや施設職員の方々、地域包括支援センター職員やケアマネジャーの方々、民生委員のみなさんといった社会福祉領域の支援者の方々はいかがでしょう？これまで頑張ってきた、今、猛暑もあってその疲労がピークに達しているということはないのか憂慮されます。

社会福祉系学会連合では、東日本大震災以後、災害福祉に関する調査研究やシンポジウムを開催してきましたが、今年度は、被災地で働く支援者の支援をめぐる公開研究会を開催します。災害福祉に、また、支援者支援に関心をお持ちの方々のご参加を願っています。

一緒に考えていきましょう。

2014年度 日本社会福祉系学会連合 事業報告

1 会員等の活動に関する情報共有

(1) HPのリニューアルおよび広報活動

HPをより活用しやすくするためリニューアルを図った。またHPにおいて加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月2回更新）したほか、震災関連のシンポジウム等の最新情報や災害福祉アーカイブを適時、掲載・更新した。

(2) 日本社会福祉系学会連合ニュース（電子版）の刊行

「社会福祉系学会連合ニュース」の2014年7月号および2015年1月号を刊行し、本連合HP上で公開したほか、加盟学会等に配信した。ニュースでは、加盟学会の大会等に関する情報や日本学術会議社会福祉学関連分科会の動向等を掲載した。

(http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/union_jssw_201407.pdf)

(http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/union_jssw_201501.pdf)

2 シンポジウム等の開催

災害福祉学の構築にむけて、東洋大学福祉社会研究開発センターとの共催により、以下のとおり公開研究会を開催し、その成果をとりまとめ HP 上で公開した。

(http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/20140920_report.pdf)

日時：2014年9月20日（土）午後12時30分～15時

場所：東洋大学125周年記念館（8号館）7階125周年ホール

主催：日本社会福祉系学会連合

共催：東洋大学福祉社会研究開発センター

テーマ：「災害福祉学の構築に向けて—社会的孤立の防止と自立支援—」

開会挨拶：副田あけみ（日本社会福祉系学会連合・会長）

司 会：金子 光一（日本社会福祉系学会連合運営委員・東洋大学福祉社会研究開発センター・副センター長）

パネラー：菅野 道夫（岩手県立大学社会福祉学部）

菅 磨志保（関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科）

山田美代子（西片医療福祉研究会）

コメンテーター：森田 明美（東洋大学福祉社会開発研究センター・センター長）

3 日本学術会議の活動に対する支援

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会の活動支援の一環として、社会福祉学の参照基準検討分科会による公開シンポジウム「大学教育における社会福祉学分野の質保証—学士課程教育における社会福祉学分野の参照基準について—」の開催を支援したほか（7月21日、於大正大学）、社会福祉系大学院のあり方に関する分科会報告書『報告：社会福祉系大学院発展のための提案—高度専門職業人養成課程と研究者養成課程の並立をめざして』を印刷製本し、加盟学会をはじめ社会福祉系大学および関連教育団体等に配布した。

4 東日本大震災への対応について

上記2のとおり、災害福祉学の構築にむけたシンポジウムを開催した。また社会福祉学領域における震災関連の研究論文や報告書などを収集し、学会連合 HP 内にある災害福祉アーカイブの構築を継続して行った。（http://jaswas.wdc-jp.com/saigai_archive/index.html）。

5 事務業務の全面委託および事務局移転

日本社会福祉学会の事務部門の外部委託にあわせ、日本社会福祉学会事務局内に事務局をおく本連合の事務業務についても（株）国際文献社への委託を図り、事務局を国際文献社内に移転した。

6

運営委員会の開催

社会福祉系学会連合の運営をスムーズに行うため、運営委員会（4月25日、12月15日、3月6日）を開催した。運営委員会委員は以下のとおりである。

会長	副田あけみ（日本社会福祉学会）
事務局長	和気純子（日本社会福祉学会）
庶務担当委員	梅崎薫（日本社会福祉学会）
会計担当委員	秋山智久（日本キリスト教社会福祉学会） （*2014年10月より遠藤久江氏から交代）
学術会議担当委員	金子光一（社会事業史学会）
震災対応委員	杉本敏夫（日本看護福祉学会）
同上	大島隆代（日本地域福祉学会） （*2014年10月より山下興一郎氏から交代）
広報担当委員	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
監事	保正友子（日本社会福祉教育学会） （*2014年5月より川上富夫氏から交代）

7 総会開催

2014年度総会を2014年5月25日に開催した。

2015年度 日本社会福祉系学会連合 事業計画

1 運営委員会の開催

学会連合の事業を円滑に遂行するために、運営委員会を年3回程度開催する。2015年度の学会連合運営委員は下記の9名で担当する。

会長	副田あけみ（日本社会福祉学会）
事務局長	和気純子（日本社会福祉学会）
庶務担当委員	梅崎薫（日本社会福祉学会）
会計担当委員	秋山智久（日本キリスト教社会福祉学会）
学術会議担当委員	金子光一（社会事業史学会）
震災対応委員	倉田康路（日本看護福祉学会）
同上	大島隆代（日本地域福祉学会）
広報担当委員	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
監事	保正友子（日本社会福祉教育学会）

2 総会開催

2015年度総会は、2015年5月31日（日）に開催する。

開催日時：2015年5月31日（日） 17時10分～17時50分

開催場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 2階 S204教室

3 会員等の活動に関する情報共有

1) HP の充実

リニューアルした HP を活用し、更なる会員との情報共有に努める。加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月 2 回更新）するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載する。

2) 電子版ニュースレターの発行

学会連合の活動内容を広く会員に周知するため、年 2 回、電子版ニュースレターを発行する（7 月、1 月予定）。

3) HP における災害福祉研究アーカイブの作成（継続）

一昨年より「災害福祉研究アーカイブ」を連合 HP 内に設け、震災関連の研究論文、報告書などを収集している。今年度は、さらなる情報の収集、掲載の工夫を行う（可能な限り PDF 化されたデータを集める等）。また、日本社会福祉学会をはじめ、加盟学会および学会員に一層の協力を求め、学会大会や機関誌、メールニュースなどの機会や媒体を通して関連データの提供を依頼するとともに、活用にむけた PR を行う。

4 公開研究会の開催

災害福祉学の構築にむけて、「災害福祉学の構築—支援者支援を考える—」をテーマに、公開研究会を開催する。また成果をとりまとめ HP 上で公開する。

5 日本学術会議の活動に対する支援

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会である「社会福祉学分野の参照基準検討分科会」の報告書の作成を支援するとともに、「社会学委員会社会福祉学分科会」による研究活動を支援する。

6 事務局の事務委託

昨年度に引き続き、(株) 国際文献社へ事務業務を委託する。

日本社会福祉系学会連合事務局

日本社会福祉学会事務局内

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

TEL: 03(5937)0047 FAX: 03(3368)2822

Mai: union-jssw@kokusaibunken.jp

<http://jaswas.wdc-jp.com>

加盟学会一覧

社会事業史学会 日本医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族研究・家族療法学会
日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本ソーシャルワーク学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本地域福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本司法福祉学会
日本精神障害者リハビリテーション学会

社会福祉系学会連合

◆◆◆公開研究会のご案内◆◆◆

災害福祉学の構築 —支援者支援を考える—

東日本大震災の発生から4年が経過し、被災者の生活再建や地域の復興が進むなか、支援に関わる人々を支えることの必要性も提起されてきています。そこで、今まで学会連合が取り組んできた「災害福祉学の構築に向けて」の一環として、『災害と福祉における支援者支援』に着目し、公開研究会のテーマとして取り上げます。支援者支援の学問的背景を含めたこれまでの研究成果と現場での実践から、今後の課題等を学識経験者および実践者から発題いただき、参加者とともに議論を深めていきたいと思ひます。

開催日時：2015年10月17日（土） 13:00～16:00

開催場所：東洋大学白山キャンパス 2号館3階 第一会議室

* 発題者:

藤岡孝志(日本社会事業大学)

「被災地における援助者支援について —特に共感疲労に焦点を当てて—」

鈴木幸一(公益財団法人ときわ会常磐病院)

「被災地での内部支援と外部支援を考える —支援する側受ける側、両側面を経験して—」

梅崎 薫(埼玉県立大学)

「日本におけるソーシャルワークスーパービジョンの再検討 —震災後の東北三県における
社会福祉士・精神保健福祉士に対する調査結果から—」

* 司会：大島隆代(浦和大学)

* 入場無料

* お申し込み 日本社会福祉系学会連合事務局

union-jssw@kokusaibunken.jp (10月15日締め切り)

